

授業科目 治療学演習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	理学
佐藤 成登志、椿 淳裕		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (内15)
【概要・一般目標：G10】 各種機器の取り扱いを理解し、その重要性和適応を習得する。その際に、起こりうるリスクを選択でき、それに対して対処できる知識・技能を修得することを目的とする					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 運動負荷に対するリスクを説明し、対処できる。 2. 運動負荷の実施とリスク管理、治療方針の修正を行うことができる。 3. 物理療法に対するリスクを説明し、対処できる。 4. 物理療法の実施とリスク管理、治療方針の修正を行うことができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガス分析運動負荷実験（自転車エルゴ）			1,2	椿淳裕（実習）
2	ガス分析運動負荷実験（トレッドミル）			1,2	椿淳裕（実習）
3	12誘導心電図および心電図モニターの実際			1,2	椿淳裕（実習）
4	まとめ（運動負荷）			1,2	椿淳裕（実習）
5	物理療法機器の実習（その1 温熱療法）			3,4	佐藤成登志（実習）
6	物理療法機器の実習（その2 水治療法・牽引療法）			3,4	佐藤成登志（実習）
7	物理療法機器の実習（その3 電気療法）			3,4	佐藤成登志（実習）
8	まとめ（物理療法）			3,4	佐藤成登志（実習）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		理学療法士のための運動処方マニュアル	奈良 勲 他	文光堂	
		物理療法学	奈良 勲	医学書院	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験、出席日数、などを通して総合的に判断する。			【履修上の留意点】		